

2023年3月期 第3四半期決算(2022/4~2022/12)(連結)

(百万円)

	19/3Q	20/3Q	21/3Q	22/3Q	前期比較	
売上高	107,279	76,177	86,492	128,160	41,668	(48.2%)
売上原価	67,437	46,734	50,735	74,598	23,863	(47.0%)
販管費	21,866	19,632	21,712	24,623	2,911	(13.4%)
営業利益	17,975	9,809	14,044	28,939	14,895	(106.1%)
経常利益	20,723	12,232	17,601	32,546	14,945	(84.9%)
当期純利益	9,739	3,951	7,288	14,220	6,932	(95.1%)

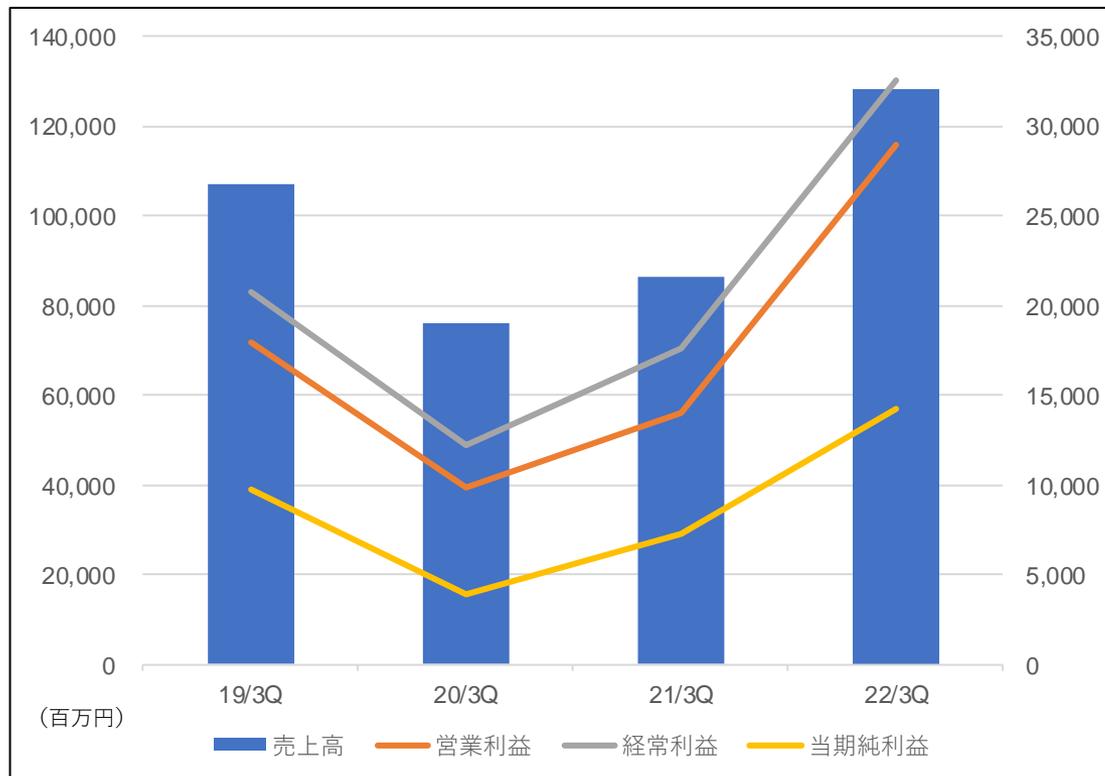
【概況】

■売上高及び各利益は、第3四半期としての過去最高記録（19/3Q）をすべて更新



売上

利益



○分析

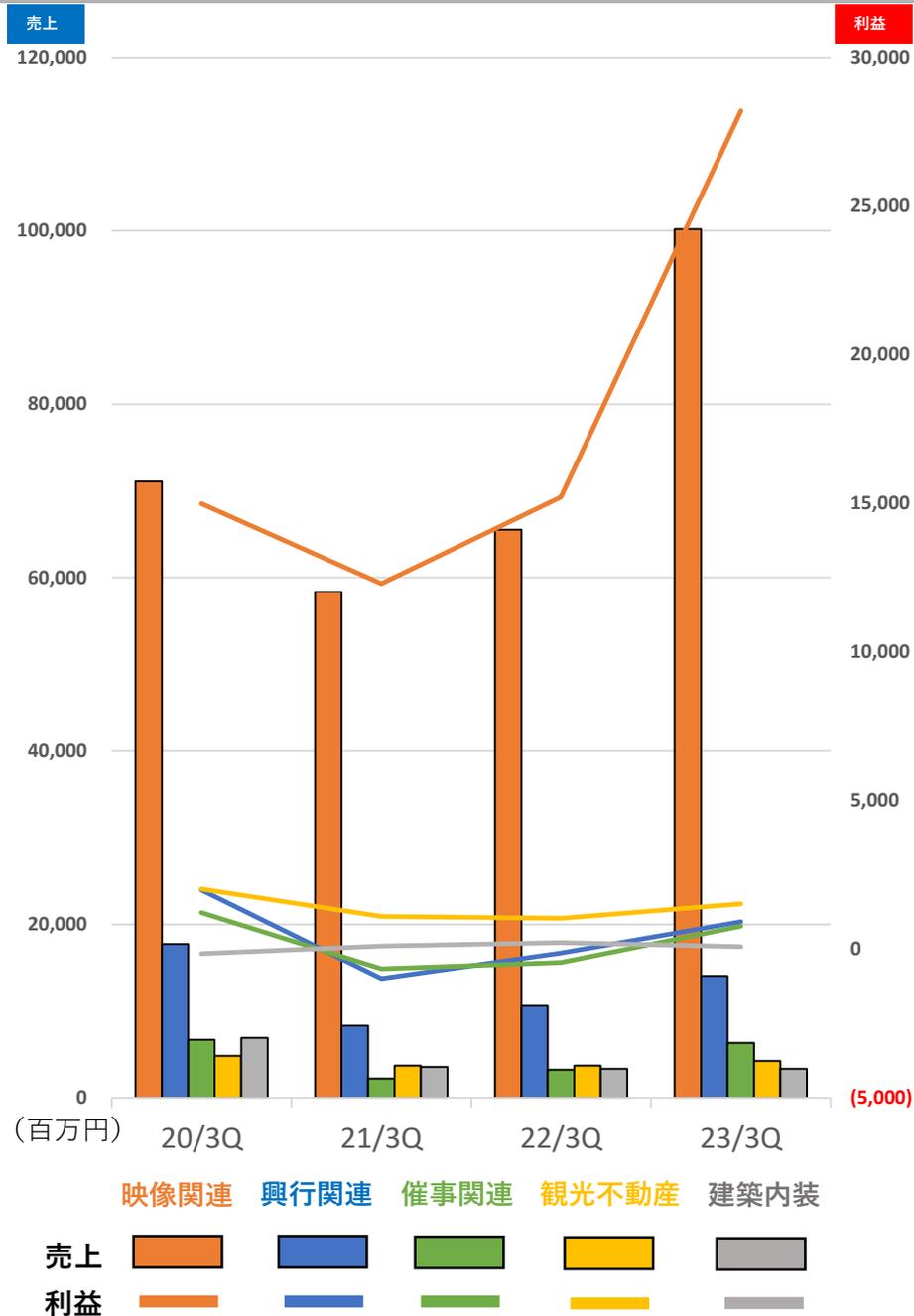
- ・映画「ONE PIECE FILM RED」「THE FIRST SLAM DUNK」のヒットによる映像関連事業の好調が、関連事業へ波及・相乗効果を及ぼし、大きく業績伸長に寄与した
- ・映画事業の配給収入の好調だけでなく、利益率の高いコンテンツ事業の好調などが大きく寄与した（P4参照）

■その他

- ・円安の影響が海外売上高の押上げに寄与した

2023年3月期 第3四半期決算 セグメント別内訳(連結)

(百万円)



		19/3Q	20/3Q	21/3Q	22/3Q	前期比較	
映像関連事業	売上	71,101	58,349	65,550	100,185	34,635	(52.8%)
	利益	14,990	12,299	15,215	28,199	12,984	(85.3%)
興行関連事業	売上	17,719	8,325	10,618	14,053	3,435	(32.4%)
	利益	1,985	▲ 989	▲ 126	915	1,041	(—)
催事関連事業	売上	6,704	2,232	3,244	6,337	3,093	(95.3%)
	利益	1,228	▲ 661	▲ 452	769	1,221	(—)
観光不動産事業	売上	4,843	3,714	3,727	4,253	526	(14.1%)
	利益	2,016	1,096	1,038	1,526	488	(47.0%)
建築内装事業	売上	6,911	3,555	3,352	3,330	▲ 22	(▲ 0.7%)
	利益	▲ 156	106	221	77	▲ 144	(▲ 65.2%)
売上合計		107,279	76,177	86,492	128,160	41,668	(48.2%)
利益合計		20,063	11,850	15,896	31,487	15,591	(98.1%)
利益調整額		▲ 2,088	▲ 2,041	▲ 1,852	▲ 2,548	▲ 696	(37.6%)

【概況】

- 映画事業、コンテンツ事業の含まれる映像関連事業が前ページの【分析】に記載の通り大幅に向上
- コロナ下で赤字だった興行関連事業と催事関連事業が黒字転換（第1四半期時点で黒字転換）

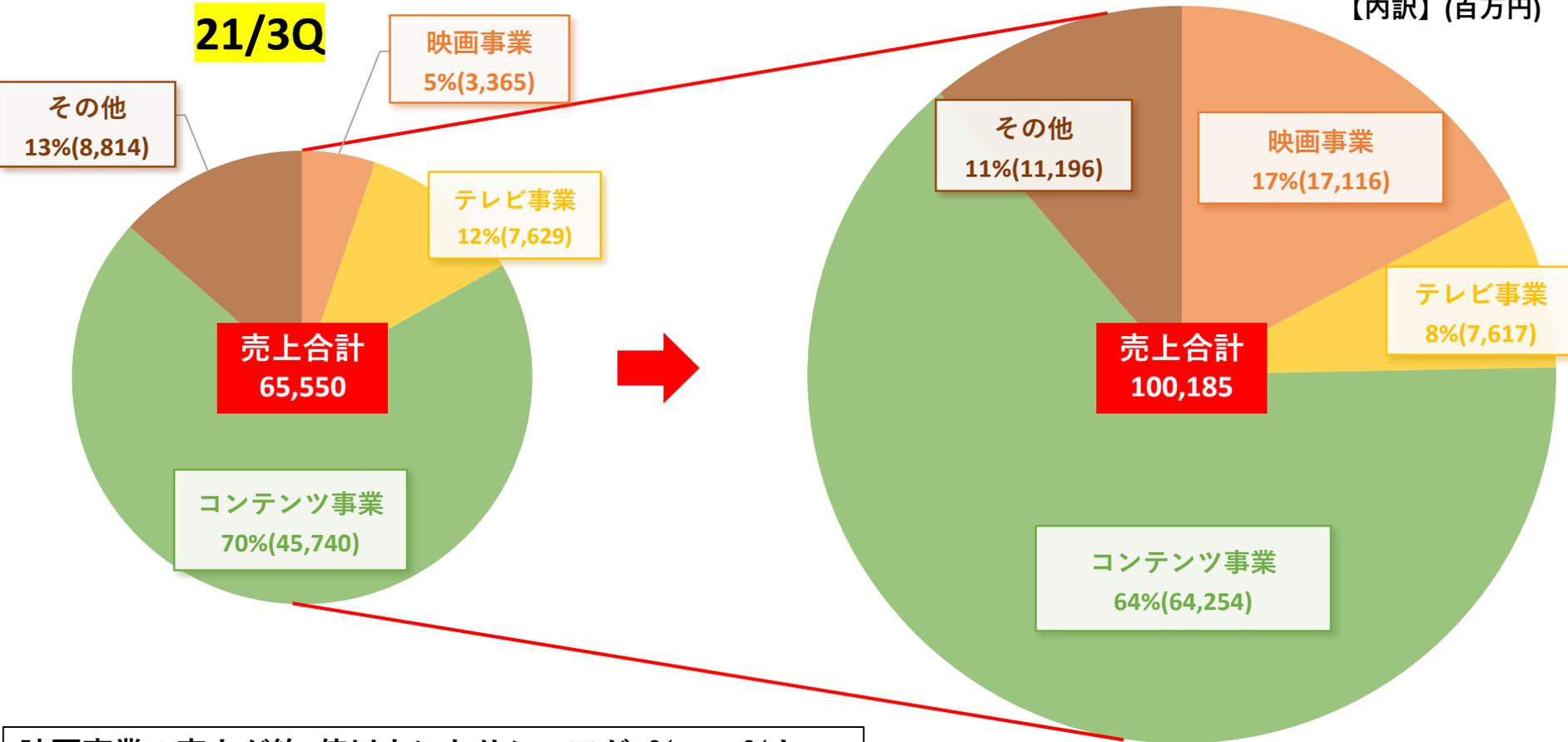
(百万円)

		21/3Q	22/3Q	増減率	
映像関連事業	売上	65,550	100,185	34,635	(52.8%)
	セグメント利益	15,215	28,199	12,984	(85.3%)

21/3Q

22/3Q

【内訳】(百万円)



映画事業の売上が約5倍以上になりシェアが5%⇒17%と向上したのに加え、コンテンツ事業の売上が特に増加した

【映画事業】

- ・「ONE PIECE FILM RED」の興行収入が当社グループ歴代第1位、邦画国内歴代興行収入第5位となる記録的ヒット
- ・「THE FIRST SLAM DUNK」「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」もヒット
- ・「映画デリシャスパーティ♡プリキュア 夢みる♡お子さまランチ!」「ヘルドッグス」が堅調に推移

⇒配給収入が大幅増収となり、**売上17,116百万円（前年同期3,365百万円）**となった

【テレビ事業】

- ・「相棒season21」「科捜研の女」「仮面ライダーギーツ」等を制作して作品内容の充実と本数の確保に努めた
- ・キャラクターの商品化権営業は玩具等に関する消費者の嗜好が多様化するなか、堅調に推移
- ・一方、受注アニメ番組の放映本数の減少等があった

⇒これらの状況を受けて、**売上7,617百万円（前年同期7,629百万円）**とわずかながら減収となった

【コンテンツ事業】

- ・劇場用映画のテレビ放映権販売が好調に推移し、劇場用映画とテレビ映画の国内配信・ビデオパッケージ販売も好調に推移
- ・アニメ関連では、映画「ドラゴンボール超スーパーヒーロー」「ONE PIECE FILM RED」「THE FIRST SLAM DUNK」の海外上映権販売に加え、海外映像配信権販売が好調に稼働
- ・国内における「ワンピース」「ドラゴンボール」シリーズの商品化権販売・ゲーム化権販売が好調に稼働し、海外でもゲーム化権販売、上記2シリーズに加えて「デジモンアドベンチャー」シリーズの商品化権販売も好調に稼働

⇒大幅な増収となり**売上64,254百万円（前年同期45,740百万円）**となった

【その他】

- ・アニメ関連で、「ワンピース」のショップ事業や映画「THE FIRST SLAM DUNK」の商品販売が好調
- ・「ワンピース」や「プリキュア」シリーズの催事が好調に稼働

⇒大幅増収となり**売上11,196百万円（前年同期8,814百万円）**となった

(百万円)

		21/3Q	22/3Q	増減率
興行関連事業	売上	10,618	14,053	3,435 (32.4%)
	セグメント利益	▲ 126	915	1,041 (—)

・東映配給作品「ONE PIECE FILM RED」「THE FIRST SLAM DUNK」のヒットに加え、他社配給作品も好調に稼働し、増収

⇒コロナ以降続いていた過去2期にわたる営業赤字から営業黒字に転じ（第1四半期時点で黒字転換）**売上14,053百万円（前年同期10,618百万円）**となった

(百万円)

		21/3Q	22/3Q	増減率
催事関連事業	売上	3,244	6,337	3,093 (95.3%)
	セグメント利益	▲ 452	769	1,221 (—)

【催事事業】

- ・「生誕50周年記念 The仮面ライダー展」「出版120周年 ピーターラビット展」等の各種イベントが堅調のうえ、キャラクターショーの稼働が上半期に引き続き堅調
- ・「ONE PIECE FILM RED」「THE FIRST SLAM DUNK」「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」のヒットを受けて映画関連商品の販売が好調

⇒前年同期比で大幅増収となり、コロナ以降続いていた過去2期にわたる営業赤字から営業黒字に転じ（第1四半期時点で黒字転換）**売上4,955百万円（前年同期2,339百万円）**となった

【東映太秦映画村】

- ・入場者数が前年同期比で20万人以上の大幅増加の状況を受け、前年同期比で増収

⇒これらの状況を受けて、**売上1,381百万円（前年同期752百万円）**となった

(百万円)

		21/3Q	22/3Q	増減率	
観光不動産事業	売上	3,727	4,253	526	(14.1%)
	セグメント利益	1,038	1,526	488	(47.0%)

【不動産賃貸業】

- ・「プラッツ大泉」「オズスタジオシティ」「渋谷東映プラザ」「新宿三丁目イーストビル」「広島東映プラザ」等の賃貸施設が堅調に稼働
- ・前期実施した京都地区の固定資産減損による減価償却費の減少があり、前年同期比増益の要因となった

⇒これらの状況を受けて、**売上3,164百万円（前年同期2,966百万円）**となった

【ホテル業】

- ・水際対策緩和によるインバウンドの増加や全国旅行支援の実施により観光需要の回復が見られ、宿泊料収入が回復基調となった。飲食や物販等にも注力し、前年同期比で増収

⇒これらの状況を受けて、**売上1,089百万円（前年同期761百万円）**となった

(百万円)

		21/3Q	22/3Q	増減率	
建築内装事業	売上	3,352	3,330	▲ 22	(▲ 0.7%)
	セグメント利益	221	77	▲ 144	(▲ 65.2%)

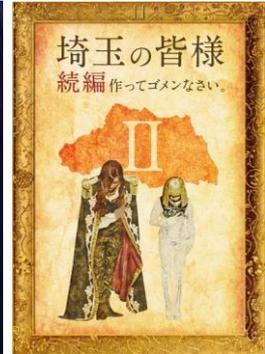
- ・シネコン関係の工事等を手掛けたものの前期に高利益率の大型物件の完成引き渡しがあったため前年同期比では減益

⇒これらの状況を受けて、**売上3,330百万円（前年同期3,352百万円）**となった

【映画】

- ・3月17日18:00より全国最速公開(一部劇場を除く)同年3月18日全国公開 『シン・仮面ライダー』
- ・5月12日 『おとななじみ』
- ・5月20日 『劇場版アイドリッシュセブン LIVE 4bit BEYOND THE PERIOD』
- ・6月9日 劇場版『美少女戦士セーラームーンCosmos』 前編
- ・6月30日 劇場版『美少女戦士セーラームーンCosmos』 後編
- ・夏公開 『Gメン』
- ・夏公開 『劇場版 仮面ライダーギーツ (仮) / 劇場版『王様戦隊キングオージャー (仮)』
- ・9月8日 『禁じられた遊び』
- ・秋公開 『プリキュア20周年記念映画 (仮)』
- ・秋公開 『鬼太郎誕生ゲゲゲの謎』
- ・2023年 『ナイツ・オブ・ザ・ゾディアック』 ※全世界公開
- ・2023年公開 『忌怪島/きかいじま』
- ・2023年公開 『リボルバー・リリー』
- ・2023年公開 『翔んで埼玉PartII (仮)』

©石森プロ・東映/2023「シン・仮面ライダー」製作委員会
 ©BNOI/劇場版アイナナ製作委員会
 ©2023 TOEI ANIMATION CO, Ltd.
 ©2023映画『禁じられた遊び』製作委員会
 ©2023 映画「翔んで埼玉」製作委員会



【テレビ】 ※2023/2/14時点放送中

- ・2022年10月12日～ 『相棒 Season21』 (テレビ朝日系)
- ・2022年9月4日～ 『仮面ライダーギーツ』 (テレビ朝日系)
- ・2023年3月5日～ 『王様戦隊キングオージャー』 (テレビ朝日系)

©テレビ朝日・東映
 ©2022 石森プロ・テレビ朝日・ADK EM・東映
 ©テレビ朝日・東映AG・東映



【配信】

- ・3月5日 『ヨドンナ3 ヨドンナのバレンタイン』
- ・4月 『仮面ライダーアウトサイダーズ ep.2 滅びの予兆とデザストの覚醒』
- ・2023年配信 『仮面ライダージュウガvs仮面ライダーオルテカ』
- ・2023年配信 『爆竜戦隊アバレンジャー with ドンブラザーズ』



【催事】

- ・『シルバニア村のおいしい時間』2023年春以降 大阪ほか
- ・『テレビシリーズ放送開始15周年記念「ひつじのショーン展」』2023年春以降 東京ほか
- ・『つくる展-TASKOファクトリーのひらめきをかたちに-』2023年春以降 九州ほか
- ・『アニメ放送40周年記念「超キン肉マン展」』2023年春以降 東京ほか
- ・『ひろがるスカイ！プリキュア おでかけ！ひろがるワールド』2023年春以降 熊本ほか

【ショー・舞台】

- ・『暴太郎戦隊ドンブラザーズ ファイナルライブツアー2023』2023年春以降 名古屋ほか
- ・『SOLO Performance ENGEKI「HAPPY WEDDING」』2023年春以降 東京ほか
- ・『東映ムビ×ステ「舞台 仁義なき幕末」』2023年春以降予定 東京ほか



【商品】

- ・『シン・仮面ライダーストア』2023年春以降 広島ほか

